

# 議会だより



9月定例会

どう使われた!?私たちの税金〈平成22年度決算〉 2

互理町議会基本条例制定!! 11

町政のここが聞きたい〈12人が一般質問〉 12



# どう使われた!? 私たちの税金

## 徹底検証

### ..... 主な使い道 .....

- 災害救助費 9,972万円  
(捜索・救助、被災者埋葬費、避難所経費等)
- 公共土木施設災害復旧費 5,622万円  
(緊急災害ガレキ撤去委託費等)

9月定例会は9月7日から9月22日までの16日間の会期で開催されました。町から提出された議案は平成22年度一般会計決算認定など26件で、いずれも慎重審議の結果すべて原案のとおり可決しました。決算認定では特別委員会を設置し、関係課長や担当者に出席を求め、平成22年度の各種会計決算を審査しました。

## 借入金返済をどうする！特別会計

22年度末 借入金残高 22年度末 わたり温泉鳥の海 11億2,130万円  
借入金残高 工業用地等造成事業 13億1,690万円

### わたり温泉鳥の海

問 建物が被災し、平成23年度は営業できない中で建設時の借入金を償還することになるが、今後の償還計画についてどのようになっているのか。  
わたり温泉鳥の海所長 地方債元金の償還繰延や利子の棚上げ等を内部で検討しています。また、



再開が待たれるわたり温泉鳥の海

国・県にも相談していますが、具体的な方策は、まだ見えていないのが現状です。今後、国の動向等も念頭に最終的に方向付けをしていきたいと考えています。

### 工業用地等造成事業

問 企業が工場進出を撤回したことは、町が企業を誘致する上での責任も大きいにある。町としてどのように反省しているのか。  
企画財政課長 経済状況の変化で紳士協定を締結した企業が撤退したのは事実ですが、工業団地を取得できたことは将来の企業誘致につながると思っています。しかし、町財政上大きな企業債(債務)の借入れとなり、一般会計に大きな負担をさ



反省を生かし早い企業誘致を

せることになりました。今後の企業誘致においては契約の仕方・方法について顧問弁護士に相談

し、慎重な事務処理に努めます。  
問 企業債は、いつ、どのように返済していくのか。  
企画財政課参事 宮城県

からの貸付金については、用地が売却できなくなったことから宮城県に対し、平成23年7月24日の返済期日を平成26年7月24日までとする延長申

請をおこない、承認を得ています。  
民間資金については、借入先が2金融機関からとなっており、それぞれ平成23年8月31日と9月

22日に償還を完了し、現在借換えの手続きを行っていますところ、償還期間については10年の予定で協議しております。

## 決算審査特別委員会質疑

### 災害救助・復旧

問 震災後、救助・捜索活動におけるガソリンや避難所の灯油等の燃料は十分対応できたのか。  
企画財政課長 震災前に町内の燃料店と災害に関する協定を結んでいたことから優先的に供給されました。

問 震災後、救助・捜索活動におけるガソリンや避難所の灯油等の燃料は十分対応できたのか。  
企画財政課長 震災前に町内の燃料店と災害に関する協定を結んでいたことから優先的に供給されました。

### 保健・福祉

問 福祉避難所へは何か所に何人の方々が避難したのか。  
地域包括支援センター主任 町内の福祉施設8カ所に合計39人が避難し、介護等を受けました。問 備品として購入した

問 解体した吉田保育所の今後はどうなるのか。  
保健福祉課長 巨理町震災復興計画に合わせて建



今後焼却される災害ガレキ

設場所を決定しますが、場所を変える場合は今後の検討になります。



主な使い道

- 子ども手当等支給経費 6億3,000万円
- 保育園経費 1億8,503万円
- 健康増進事業費 5,605万円

**問** 健診の受診率があまり伸びていない。後年度の後期高齢者医療の負担が増えないよう受診率を60%くらいに上げる必要があると思うが。

**保健福祉課長** 昨年は7月の集団健診の結果を踏まえ、11月に未受診者対策として2日間健診を実施したことにより前年対比4・4%増となりました。今年も11月に未受診者健診を行うため、広く周知していきます。



今年も未受診者健診が11月に行われます

主な使い道

- 商工振興事務経費 9,036万円
- 農業用施設整備費 5,401万円
- 観光振興経費 4,741万円

**問** 農業後継者育成の観点から4Hクラブの育成強化に力を入れる必要があるのではないか。

**産業観光課長** 4Hクラブの会員は21人で、活動の中心は農業技術の研修、他団体との交流です。今後農業の基礎の後継者として会員の増、活動の強化指導を援助していきます。

**問** イノシシによる農作物被害対策は。近隣市町村と情報交換をしているか。

**産業観光課長** 県内のイノシシ被害が増加していることから、県を中心として各市町村の担当者会議が持たれ、情報交換や対策方法を検討しています。

**問** 四方山は観光地として整備が不十分でないか。

**産業観光課長** 四方山の観光については角田市、巨理町、山元町の1市2町で協議会を設置しています。現在は雑木の伐採を行い、その後には景観整備が必要と考えています。

**問** 観光用着ぐるみイメージキャラクター作成はできなかったのか。

**産業観光課長** 作成最後の会議が震災当日で開催できず、最終決定はできませんでした。

主な使い道

- 防災施設整備事業費 5,694万円
- 町民乗合自動車運行事業経費 5,229万円
- まちづくり協議会支援事業費 893万円

各生徒宅を訪問し、中止にいたる経緯や仲間の安否情報を伝えながらご理解を頂きました。

**問** まちづくり協議会3団体に約一千万円の補助金を支出している。この補助事業は、いつまで続くのか。

**企画財政課長** 県の補助事業としては3年間で、4年目以降は未定ですが、県の補助金がなくなれば町単独、あるいは何か他の補助事業で対応していきます。



防災移動系無線がデジタル化へ

農政・商工

総務

生活・環境

主な使い道

- ごみ処理経費 2億5,968万円
- 合併処理浄化槽整備事業費 2,183万円
- 太陽光発電システム設置補助金 838万円

**問** 単独浄化槽撤去事業の内容と実績はどうなっているのか。また、単独浄化槽は町内に何件あるのか。

**上下水道課長** 単独浄化槽を廃止し、合併処理浄化槽を設置する際に工事費の一部上限9万円を補助する事業で、件数は1件です。また、町内にある単独浄化槽は工場と住宅合わせて826基となっています。今後制度が浸透するよう普及に努めていきます。



巨理公園 池の水質浄化を

教育・文化

主な使い道

- 学校給食センター事業費 1億8,514万円
- 小中学校施設整備費 6,378万円
- 外国語指導経費 1,089万円

**問** 思いやりの心で育てる花と緑のまちづくり事業、勢いが無くなっている。今後の進め方は。町民生活課副課長 希望

**問** 各小中学校では災害時の避難計画書を作っているのか。各務課長 各学校において

する団体も減少傾向にあるが、何とか続けてきたのが現状です。今後は実施可能な団体と協議しながら進めたいと考えています。

**問** 中央公民館の工事内容は。中央公民館長 公民館2階トイレ改修と非常用放送設備、大ホールと第3研修室のエアコン工事を実施しました。

**問** 今回奨学資金を借りた方が2人と年々少なくなってきたが、要因をどう考えているのか。学務課長 町の制度では町以外から借りている方には貸付けができません。高額に借りられる各学校等から貸付けを受けていると考えています。

**問** 放課後子ども教育推進事業の報償費は。

**生涯学習課長** 長瀬小学校において放課後子ども教室を計39回開催しました。その際のコーディネーター1人と指導員4人等の報償費になります。



放課後子ども教室を開催（長瀬小）

収入の確保は

**問** 震災の影響で町税の口座引き落としによる納期限が5月31日まで延長されたが、その影響は。税務課副課長 平成22年度第10期分の口座振替は3月31日に実施できず、金融機関の手続上5月31日に納期限を設け実施しました。約9500万円を平成23年度分として収納しております。

は60件、滞納額は約6500万円です。

**問** 広告掲載料を増額させるため、既存の方法に加えて、公共物等を利用するなど検討してはどうか。

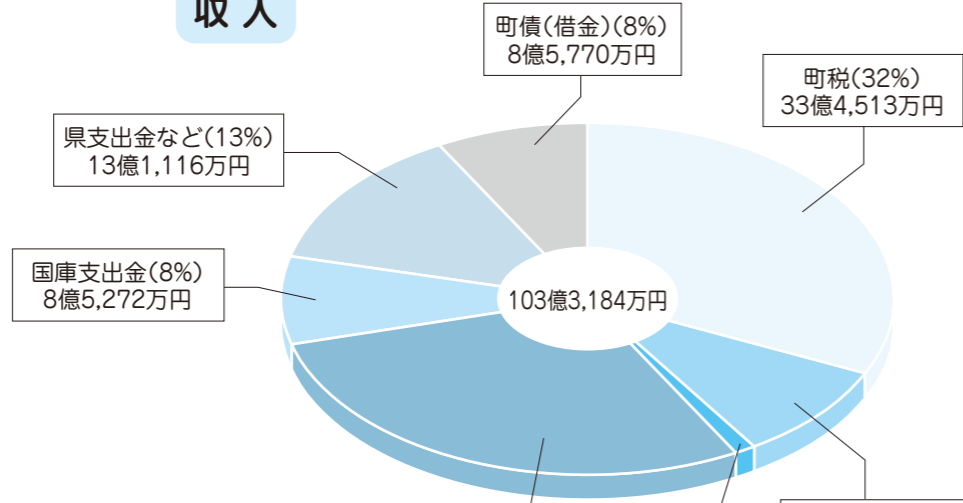
**問** 宮城県地方税滞納整理機構に移管した件数と滞納額は。税務課副課長 移管件数

現在、広報やさんか号に広告を掲載していますが、今後町有地や施設について前向きに検討します。

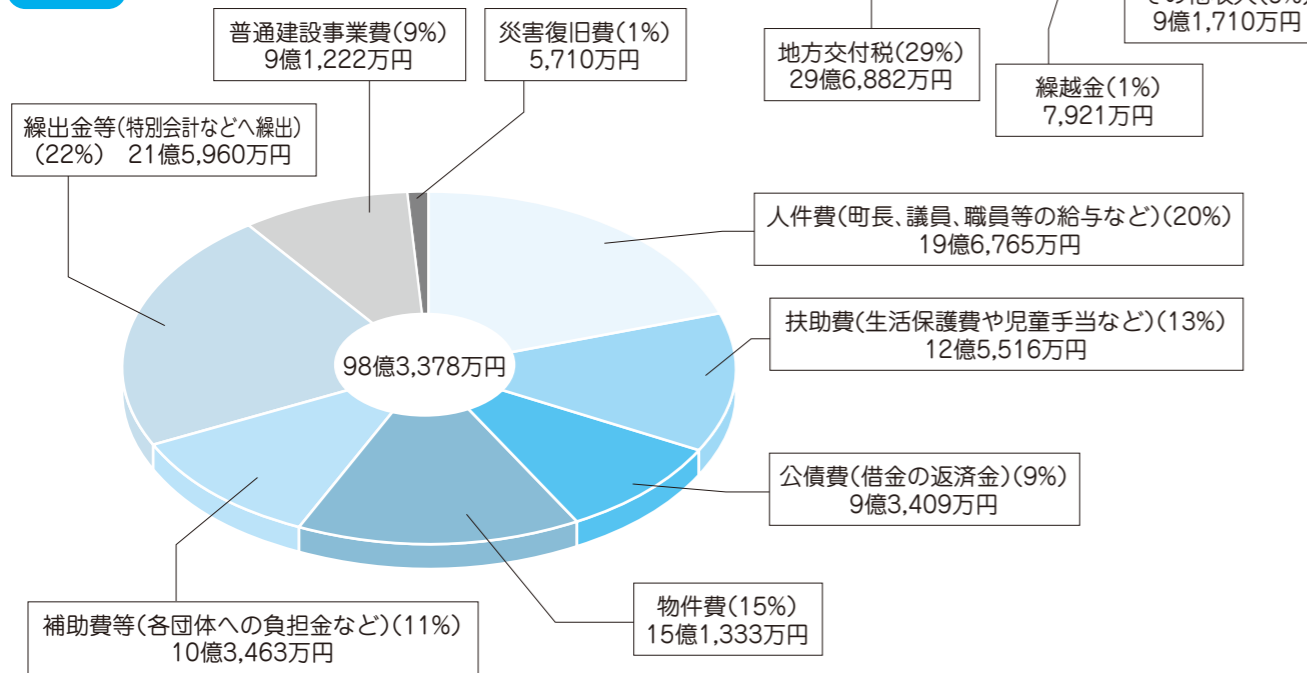


平成22年度 一般会計決算額

収入



支出



# 決算内容に2人が総括質疑

**大震災の影響は**  
**鞠子幸則議員 東日本大震災が、平成22年度一般会計決算にどう影響したのか。**

**事業中断で不用額多額発生**  
 企画財政課長 歳入における収入未済額の増加と事業中断による歳出不用額の増加です。  
 歳出では、被災者支援経費として災害救助経費9,972万円、道路の応急復旧やガレキの撤去など災害復旧費5,710万円です。また、事業中断を余儀なくされたため、各費目において例年以上に不用額が発生しました。  
 歳入では、町税の3月末納期限を5月末に延長したこと、翌年度の収入となったため結果として22年度の町税収入未済額が増加しました。なお、3月11日から3月末まで全国から2,133万円の寄付金が寄せられました。

**地球温暖化対策の進捗状況について**

高野孝一議員 昨年3月に巨理町地球温暖化対策実行計画を策定した。その中で率先して環境に配慮した取り組みをしていくことは環境負荷の低減と町民・事業所の自主的な活動につながる。町は平成20年度のCO<sub>2</sub>排出量4000tを基準に22年度から5年間を目標に6%削減する目標を掲げている。22年度の削減量は。

**大震災でデータ流出**

町民生活課長 役場庁舎や出先機関及び小中学校などの施設において使用される電気や石油類の使用量をCO<sub>2</sub>に換算して評価改善していくものです。  
 しかし、今回の大震災で入力データの流出、停電、断水、仮設プレハブの使用など、通常でない使われ方をした事によりデータがとれないため、公表ができなくなりました。

平成22年度会計別決算額表

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	
一般会計	103億3,184万円	98億3,378万円	4億9,806万円	
特別会計	国民健康保険	39億360万円	36億3,587万円	2億6,773万円
	奨学資金貸付	2,124万円	876万円	1,248万円
	公共下水道事業	17億133万円	16億9,332万円	801万円
	老人保健	36万円	36万円	0
	土地取得	511万円	508万円	3万円
	介護保険	19億207万円	18億8,197万円	2,010万円
	介護認定審査会	584万円	584万円	0
	わたり温泉鳥の海	3億6,459万円	3億6,413万円	46万円
	後期高齢者	2億4,965万円	2億4,855万円	110万円
工業用地等造成事業	2億661万円	1億6,312万円	4,349万円	
企業会計	水道事業			
	・収益的収支 ・資本的収支	8億5,480万円 7,739万円	7億8,486万円 3億5,147万円	6,994万円 △2億7,408万円

監査委員の審査意見



代表監査委員 齋藤 功氏

本町は震災関連で税収が落ち込む中、災害復旧に多額の経費が必要であり、地方債、企業債及び償還利子など本年度も多額の経常経費があります。常にコスト意識を持って、地域住民の福祉向上を図るため、財政の長期的な収支均衡確保に留意しながら、引き続き健全にして効率的な行財政の運営に努められるよう強く要望します。





# 一般会計補正予算 33億7451万円を追加

9月定例会は、町長から提案された議案等（条例案6件、補正予算案5件、平成22年度各種会計決算認定案12件、その他2件）並びに議員提出議案2件を原案どおり可決しました。主な内容を紹介します。

### ◇平成23年9月 一般会計補正予算 主な復興対策

・災害ガレキ等撤去業務委託料	24億4,176万円
・東日本大震災農業生産対策事業補助金	4億4,876万円
・災害援護資金貸付金	8,755万円
・園芸療法拠点事業（地域支え合い体制づくり事業）	7,800万円
・公共ゾーン仮設店舗・事務所用地整備工事	6,000万円
・仮設住宅玄関網戸設置工事等	5,331万円
・農地・農業用施設災害復旧事業委託料（畑地除塩）	3,842万円
・サポート拠点事業（地域支え合い体制づくり事業）	3,514万円

災害復旧・復興に重点

総額220億1,223万円に



10月2日 吉田字砂浜地内に設置計画の震災ガレキ等処理施設の説明会が開催されました（中公）

《園芸療法拠点事業》  
鞠子幸則議員 吉田地区のどこにつくるのか。また、事業の具体的な内容は、産業観光課長 常磐自動車道の西側にイチゴのハウスを建設します。また、被災したイチゴ生産農家を

を対象に就労の機会を提供し、当面の生活支援をおこないます。対象者は、約15人です。さらに、仮設住宅で生活している高齢者を対象に農作業を手伝ってもらいます。

## ゆゆう共同作業所移転

提案理由 今までゆうゆう共同作業所（精神に障がいのある方の作業所）が利用していた建物（南集会所の1階）が、大震災で大規模な被害を受け、使用不可能となったことから亘理郵便局の西側に移転するものです。

（全員賛成で可決）

鞠子幸則議員 大震災の前と後で仕事量はどのくらいなっているのか。

保健福祉課長 大震災から数カ月間は、仕事はありませんでした。現在は以前と同じくらいの仕事ができるようになっていきます。



ゆゆう共同作業所

## も支給対象拡大

### 災害弔慰金、兄弟姉妹に

提案理由 災害弔慰金の支給等に関する法律が改正され、兄弟姉妹にも災害弔慰金が支給されることになりました。ただし死亡時に同居していること等が条件です。  
（全員賛成で可決）  
鞠子幸則議員 今まで兄弟姉妹で対象にならなかった方は何人か。  
保健福祉課長 3人です。  
山本久人議員 3人の方が申請した場合、いつから支給されるのか。  
保健福祉課長 7月末に法律が改正され、条例が改正される前であっても上位法にもとづき事務を進めてもかまわないことになっていきます。9月中旬にも支給できる状況です。  
安細隆之議員 今まで何人に総額どれくらい支給されたのか。  
保健福祉課長 284名に総額で8億6000万円となっています。

《地域支え合い体制づくり事業》  
鈴木高行議員 この事業は仮設住宅に入居している方々を対象にして、各仮設住宅（5カ所）にサポート支援センターを設置して、居住者のコミュニケーションや健康維持に努め、楽しく暮らしていただくために、国が1億1000万円を補助しているものであります。入居者の意見等を取り入れた有効な事業になっているか。

《仮設店舗》  
高野孝一議員 公共ゾーンのどこに仮設店舗を建設するのか。整備事業の具体的な内容は、産業観光課長 場所は、仮設住宅の南側出入口付近です。面積は、東西に100m、南北に60mで約6000㎡になります。仮設店舗を建てられるよう山砂を厚さ約40センチ敷きます。

保健福祉課長 計画では公共ゾーン仮設住宅にサポート支援センターを設置し、看護師5人を雇用して、1人が常駐し、他は巡回指導にあたる形で、最低でも1日3人以上での体制を考えております。また、農業従事者であった高齢者に対しても施設園芸を通じて、農業に従事していただき、働く喜びを感じていただくことも考えています。



亘理駅東公共ゾーンに仮設店舗を建設



# 亘理町議会基本条例を制定 主な内容を紹介します

3月亘理町議会において、審議する予定でありました、議会基本条例は東日本大震災の対応を優先したことにより、9月議会での審議となり可決しました。なお、施行日については平成24年4月1日となります。

## 前 文

地方議会は、地方分権の時代にあって、二元代表制の一翼を担うため、日本国憲法に定める地方自治の本旨を目指すことが求められている。

亘理町民（以下「町民」という。）に選ばれた議員によって構成している亘理町議会(以下「議会」という。)は、その持てる権能を十分に駆使し、議会及び議員の果たすべき役割を確認し、町民との活発な意見交換を図りながら、議会活動を活性化させ、町民福祉の向上のため真摯にその任務を遂行することを確認した。

議会は、自らの創意と工夫によって、亘理町のまちづくりを進めていく必要がある。議会に公平性、透明性を確保することにより、町民に開かれた議会を目指し、あるべき姿をここに定めるものである。

## (目 的)

この条例は、地方分権と地方自治の時代にふさわしい議会のあり方、議員及び議会の使命及び役割を明らかにするとともに、町民と議会の関係、町長その他の執行機関（以下「町長等」という。）と議会の関係、その他の議会の活性化と充実のために必要な議会運営の基本事項を定めることによって、町民の負託に的確にこたえ、緑と光輝く田園都市亘理町の持続的で豊かなまちづくりの実現に寄与することを目的とする。

## (議会の活動原則)

議会は、次に掲げる原則に基づき活動しなければならない。

- (1) 議員と町長等との自由な討論の場であるとの認識に立ち、町民の多様な意見を把握し、町民の意見を反映した、政策提言及び政策立案を行う。
- (2) 町民の代表機関であることを自覚して、公平性及び透明性等を確保し、情報公開等を含め町民からの信頼を重んじ、開かれた議会を目指す。
- (3) 町の施策に対する議決機関として、町政運営の状況を監視及び評価し、適切な判断と責任ある活動を行う。

## (議員の活動原則)

議員は、次に掲げる原則に基づき活動しなければならない。

- (1) 議会が言論の府であること及び合議機関であることを十分に認識し、議員間の自由な討議を尊重する。
- (2) 町政の課題全般について、町民の意見、要望を的確に把握するとともに、自己の能力を高める研修等を通じ、町民の代表としてふさわしい活動をする。
- (3) 議会の構成員として、個別的事案の解決だけでなく、町民全体の福祉の向上を目指して活動する。
- (4) 町政全般の課題解決や町民の意見、要望等の実現・解決のための政策提言活動を行うよう努める。

## (町民との連携)

- ・議会は、町民に対して積極的に情報を発信し、情報の共有を図るとともに、説明責任を十分に果たすよう努めなければならない。
- ・議会の会議は、公開を原則とする。

- ・議会は、議員及び町民が自由に情報及び意見を交換する議会懇談会を年1回以上行う。
- ・議会は、休日議会を年一回開催する。

## (町長等と議会及び議員の関係)

- ・議会は、町長との立場や権能の違いを踏まえ、事務執行の監視及び評価を行い、町勢の発展に努めなければならない。
- ・本会議における議員と町長等との質疑応答は、広く町政上の論点及び争点を明確にするため、一問一答方式を原則とする。
- ・議長から本会議及び委員会への出席を要請された町長等は、議長または委員長の許可を得て、議員の質問に対して反問することができるものとする。

## (議決事項の拡大)

- ・議会の議決事件については、議会が重要な計画等の決定に参画する観点と、町長の政策執行上の必要性を比較考量し、その決定にあたっては、議会の議決責任の役割を町長等と公平に分担するという観点に立ち、次のとおり定める。
  - (1) 総合発展計画基本構想及び基本計画
  - (2) 公共ゾーン施設整備計画
  - (3) 協働のまちづくり計画
- ・議会は、町長等が各行政分野における基本的な計画の策定、変更をするために、広く町民などから意見等を募集するときは、事前に町長等にその理由及び概要の説明を求めることができるものとする。

## (議員間討議)

- ・議会は、言論の府であることを十分に認識し、議員相互の自由討議を重んじた議会運営を行うよう努めなければならない。
- ・議会は、本会議及び委員会において、議員・委員会及び町長提案に関して審議し、結論を出す場合は議員間の議論を尽くして合意形成に努めるものとする。
- ・議員は、議員間の議論により、議員自らの積極的な政策提言、条例案の提案に努めなければならない。

## (委員会の活動)

- ・委員会は、専門性を生かし町政課題について継続的に調査を行うよう努めなければならない。
- ・委員会は、付託事件の審査及び調査を行うにあたっては、資料等を積極的に公開しながら、町民に分かりやすい議論を行うよう努めなければならない。
- ・委員会は、請願等の審査にあたっては、紹介議員等から説明を受けるなど、請願等の趣旨がより理解できる方法を取り入れるよう努めなければならない。
- ・委員長は、委員会の秩序保持に努め、委員長報告を自ら作成するとともに、質疑に対する答弁も責任を持って行わなければならない。

## (議員定数)

- ・議員定数を改正する際には、町政の現状と課題及び他市町村の状況、並びに議会が果たす役割を考慮しなければならない。
- ・議員定数の条例改正案は、町民の直接請求による場合及び町長が提出する場合を除き、議員定数の基準の明確な改正理由を付して、法第109条第7項又は法第112条第1項の規定に基づき、常任委員会又は議員から提出するものとする。

## (長期欠席議員の報酬の取り扱い)

- ・議員が長期にわたり議会活動ができない場合、段階的報酬の減額及び期末手当の減額を行うものとする。



# 町政のことが聞きたい

「一般質問」は町長に対し、事務の執行状況や将来に向けての考えなどを質すものです。今回12人の議員が行いました。

佐藤アヤ議員 ……13P

・仮設住宅の住環境改善の取り組みは

高野 進議員 ……13P

・義援金 次回の配分はいつか

鞠子幸則議員 ……14P

・綿密な放射線量の測定を

小野一雄議員 ……14P

・JR常磐線の復旧は

熊田芳子議員 ……15P

・児童の安全確保対策は

高野孝一議員 ……15P

・災害公営住宅の早期整備を

島田金一議員 ……16P

・人口減対策は

鈴木高行議員 ……16P

・防災拠点・機能は充分か  
・復興計画の最終判断は

佐藤 實議員 ……17P

・復興に対する町としての考えと方針は

山本久人議員 ……17P

・被災小中学校再開のめどは

安細隆之議員 ……18P

・24年度の作付け見通しは

安藤美重子議員 ……18P

・次年度学区は選べるか

## 住環境改善の取り組みは

### 国・県に対して要望

**問** 本町では、仮設住宅を希望された全員が入居し、生活の再建に向け、スタートしています。住環境の改善の取り組みはいかがか。

**町長** 本町には、1,126戸の仮設住宅が建設されています。入居者の方々の要望や意見に対応し、手すりやスロープの増設、玄関の網戸設置等の対応をしています。  
**再質問** 2人で1DKでは狭すぎる。家族構成や健康状態などを踏まえて今後対応する考えは。  
**町長** 現在、空き部屋が60戸あります。1DKか

ら、2DKに入りたいという方については状況等調査のうえ逐次改善をしていきます。

**再質問** 冬場に向かって仮設住宅の両方の壁に断熱材を張ってはどうか。  
**町長** 国・県に対して要望していきます。

**問** 孤独死ゼロを目指し仮設住宅のひとり暮らしの高齢者に緊急通報システムを設置する考えは。  
**町長** ひとり暮らしの方へ個別に緊急通報システムの案内チラシを配布し、周知を図りながら、設置へつなげていきます。



佐藤アヤ議員

## 仮設住宅



多くの被災者が住む仮設住宅

## 次回の配分はいつか

### 一次配分額に達してから

**問** 震災復興基本方針策定は進んでいるか。前倒しをいつか。

**町長** 計画どおり進んでいます。復興計画は12月ということで策定したいと考えています。

**問** 常磐自動車道を一時避難場所にするのに、NEXCO東日本との協議はいつなっているか。

**町長** 復興計画や土地利用計画等と整合性を図りながら、設置位置・箇所数を調整した上で正式に要請します。

**問** 当町への義援金、寄附金額はいくらか。また義援金の配分は順調か。二次配分はいつか。何寄附金はいつか、何



命を救った常磐自動車道

に使用するのか。

**町長** 8月25日現在で義援金は、1億337万6千77円。寄附金は、1億8,771万1,582円です。義援金の配分は、5千963万円で、58%となっています。

二次配分は一次配分程度の金額に到達してからと考えています。

寄附金は復旧・復興事業の推進に活用します。実施内容や時期は、12月の復興計画策定後の予定です。

**問** 役場職員の健康状態は大丈夫か。  
**町長** 職員の健康管理に十分配慮します。

## 義援金

高野 進議員







熊田芳子 議員

通学路

児童の安全確保対策は

現地指導で対応



7年間続けている子ども見守り隊

問 気象庁の発表では、今後1年間余震が起こるという想定だが、どう備えるのか。

町長 周知徹底に努めます。町長 常磐線が不通により、朝七時前後から亘理小通学路において交通量が異常に多い。何らかの対策を講じてほしい。

原 発

綿密な放射線量の測定を

県と町独自計測



鞠子幸則 議員



住民の健康は大丈夫か（上館センター）

問 綿密な放射線量の測定と除染、被ばくの軽減、食品安全確保をはかっていますか。

町長 県では毎日1回、佐藤記念体育館駐車場で放射線量を計測し、ホームページや新聞などで公表しています。



高野孝一 議員

早期着工

災害公営住宅の早期整備を

意向調査をして建設地を決定

問 狭い仮設住宅に住んでいる方が希望することは、早急に災害公営住宅に住むことだと思っております。

町長 どの辺の建設予定地を希望するのか、また町の方で提示して、移転する方々と調整して、決まれば早くできると思います。



仮設住宅の室内

J R 浜吉田駅

J R常磐線の復旧は

現在地での早期復旧を要望



小野一雄 議員



早期復旧が望まれるJ R浜吉田駅

問 常磐線の早期復旧に向けて町の取り組みは。

町長 同じ考え方の内容整備は現実的には難しいと思っております。安全安心を守るために、地域の方々と意見交換会を進めてまいります。





島田金一議員

## 人口減対策は

### 土地利用計画で検討

## 人口減

**問** 意向調査の重要ポイントとは。

**町長** 年代別の意向調査を考えている。さらにPTAと意見交換し、復興計画に反映していきます。

**問** 宮城県の統計資料によると、3月1日から8月1日まで亘理町の人口は1,086人が減少している。復興計画では土地の問題が重要になる。被災地に住んでいたすべての人に連絡がなされ、きめ細やかな情報伝達が必要となる。体制はできているか。

**町長** 町外に転出してい



人口の減少が続く（荒浜地区）

る人も多い。担当部局と行政区長の情報に基づき所在を確認し、情報を発信しています。

**問** 荒浜地区・吉田地区の人口や世帯を維持する方策は。

**町長** 津波防災対策を考慮した土地利用を検討します。対策を講じても安全性が確保できない地域は移転を考えています。集団移転住宅の場合、借地となり、約100坪になります。土地区画整理の場合でも、住民の理解と協力なくしては事業展開ができません。今後、住民の意見を尊重しながら進めていきます。



佐藤 實議員

## 復興

## 町としての考えと方針は

### 基本方針を策定中

**問** 地域の復興に関して、町としての対策は。

**町長** 震災復興に向けて一刻も早い被災者の生活再建を図るため、津波被災地域の吉田東部地区・荒浜地区の漁業者、農業者、自営業者の方々の事業継続等の意向調査を行い、今後の復旧・復興のための基本方針を策定中です。

**問** 復興するには財源と国・県の支援が必要だが、財源不足のため、支援が足りない時、町としての事業だけは譲れない復興事業はどれくらいか。

**町長** 荒浜支所・吉田支所については早くやりたが、災害査定等の手続き、水道・電気の問題で遅れているのが現状ですが、なるべく早く復旧させたいと考えています。



早期復旧が望まれる公共施設（荒浜支所）

**町長** まだ具体的な施策や事業が固まっていない時点で、復興事業の優先順位を決めることは難しい。しかしガレキの処理、子ども達の安全安心、公共施設の整備、災害公営住宅、集団移転。それらが最も大事だと思います。

**問** 被災地の公共施設の復興は。

**町長** 荒浜支所・吉田支



鈴木高行議員

## 防災拠点・機能は充分か

### 津波シミュレーションの結果等を見て検討

## 学校

**問** 荒浜小・荒浜中・長瀬小は、今回の大津波で地域の多くの方々が避難したが、避難所として安心であったか。

**町長** 震災発生時は2,100名が三つの学校に避難しました。その後、消防援助隊により他の学校に二次避難しました。反省点は、校舎の二階以上に自家発電装置や、簡易トイレ等の他、生活設備がなかったことです。それらについては今後、常備していきたいと思っています。

## 計画の最終判断は

**問** 居住地・非居住地の指定、集団移転等の最終判断は町長をトップとする。町の復興本部である。現況にとらわれることなく百年以上を見据えた計画を示すべきと考えます。

**町長** 最終的な計画については、説得はするが住民の合意形成がえられない場合は、安全安心な町づくりという考えから町長である私の判断でやらなければならぬと思っています。



被災した長瀬小学校

## 被災小中学校再開のめどは

### 復興計画に明示

## 学校再開

山本久人議員



**問** 荒浜小・長瀬小・荒浜中再開の際の児童・生徒数はそれぞれ何人を見込んでいるか。

**町長** 現在荒浜小で165人、長瀬小で219人、荒浜中で103人ですが、3校とも再開時には児童生徒数が減るのではないかと考えています。



津波によりできた堀（大畑浜海岸）

**再質問** 親の意向調査も踏まえ、復興計画に明示したいと思っています。

**町長** 現在仮設防潮堤として5mの工事を行っています。来年5月頃からは本工事を国で考えています。その際理め立てしなければなりません。

**再質問** 統合や新設移転を検討したか。

**町長** 担当課で、県並びに農政局、土地改良区と協議しています。

**再質問** 今後の意向調査の中に、小中一貫校の項

**町長** 鳥の海灣の再生を考慮した排水路の変更を考えているか。

**町長** 担当課で、県並びに農政局、土地改良区と協議しています。



平成23年9月 第34回定例会 議案等の審議結果

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 退：退席 除：除斥 無記名投票：無記名投票 ※議長は採決に加わりません。

Table with columns for case number, name, date, and 20 council members' votes. Includes items like '巨理町税条例の一部を改正する条例' and '平成23年度巨理町一般会計補正予算(第3号)'.

水稲

24年度の作付け見通しは

2,000haが可能



安細隆之議員



排水能力7割まで回復

排水ポンプ場の修復状況や巨理地域復興組合のガレキ等の撤去状況。町長 現在、応急的な修復を行っており、排水能力については、約7割程度まで回復しています。...

学区

次年度学区は選べるか

元の住所で対応していきたい



安藤美重子議員



仮設住宅からスクールバスで学校へ

問 来年一年生になる児童に案内を出す時期が近付いてきた。今の住まいで学区を選べるか。教育長 小・中学校への通学区域については、居住する住所地によって通学する学校が指定されており、児童、生徒、保護者が自由に学校を選ぶことはできません。...



# 私もひとこと

## 一日も早い

### 仮設店舗の設置を



亀谷 真粧美さん  
(吉田浜北 45歳)

今回の震災で自宅兼職場だった理容店を同時に失いました。震災当日も仕事をしていた揺れがおさまった後、お客さんには散髪の途中ででしたが帰っていただけでした。たまたま家には母、夫、子ども二人の全員がそろっていて、「ここには危険だ」と思い、皆で急いで吉田小学校に避難しました。

5月初めから第一期に完成した館南仮設住宅に入居することはできましたが、仕事の再開はどうしようかと迷っていたところ、同業者の方から仮設店舗の話聞き、迷いながらも応募しました。  
震災後はお客さんに仮設

住宅まで出向いていたり、お客さんの自宅まで出向いて散髪していましたが、やはりきちんとした場所が必要だと思っていました。理容店の再開を待つていらっしゃるお客さん達のためにも、もう一度仮設店舗でやってみようと思います。一日も早い仮設店舗の設置をよろしく願います。



## 妻へ捧げる大漁旗



白井 健治さん  
(荒浜五丁目 63歳)

3・11の大震災により最愛の妻を失いました。船も津波で陸に打ち上げられ、家も失いましたが、周りの方々の後押しもあり、7月7日の七夕の日に初水揚げをしました。年に一度の願いが叶う日に、妻の思いもあつたのか大漁の日でした。今後、妻が大好きだった「父ちゃん」の姿を息子や孫に見せ、妻が愛した子どもたちと荒浜の海、そして魚と。これからも津波に負けず、思い出がたくさんつまった荒浜の海で生涯頑張っていきたいと思えます。



## 編集後記

ある新聞記事に「巨理町のいちご農家北海道伊達市で営農再開、姉妹都市の縁で6世帯11人が移住」という記事がありました。

伊達市に移住した方々のいちご栽培が大成功されますように願っています。

さて現在の議会広報調査特別委員会も今回の「第113号」で担当が終わりとなります。次回からは改選後の議員の方々になります。今までの議会だよりのご愛読ありがとうございました。引き続き町民の皆様のお寄せ下さい。

(K・W)

### 議会広報調査特別委員会

- 委員長 鞠子 幸則
- 副委員長 佐藤 アヤ
- 委員 小野 一雄
- 渡邊 健一
- 高野 孝一
- 鈴木 高行

議会に関する詳しい内容は巨理町のホームページからご覧になれます。

<http://www.town.watari.miyagi.jp/>



この広報誌は、米ぬか油を使用した環境配慮型「ライスインク」で印刷しています。